

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
22321	公衆便所維持管理事業	環境部	清掃施設課	2
53133	南クリーンセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	3
53133	西クリーンセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	4
53133	横谷埋立センター運営管理事業	環境部	清掃施設課	5
53133	大西谷埋立センター運営管理事業	環境部	清掃施設課	6
53133	中島リサイクルセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	7
53133	新南クリーンセンター整備事業	環境部	清掃施設課	8

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	施設維持管理担当	連絡先	948-6902	
部長等名	松本 典洋	課等長名	吉本 真一	リーダー	岡田 真規子	担当	岡本 貴仁	

1.事業概要【Plan】

事業名	公衆便所維持管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
22321								
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			-	-	-	-	
施策	良好な衛生環境の維持							
主な取組	生活衛生の向上		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
取組みの柱	生活衛生施設の衛生水準の維持・向上							
目的・背景	当課が管理する市内12箇所に設置された公衆便所を衛生的に維持管理し、公衆衛生の保全及び市民の利便性の向上を図る。							
対象・内容	<<対象>> ・市内12箇所の公衆便所  <<事業内容>> ・清掃業者等に委託料を支出し、日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務を実施する。また、破損や故障時には緊急修繕工事を実施する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	し尿処理費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	8,642	14,981	14,682		主な経費 (千円) 【R5 決算】	清掃業務委託料		4,858
	国費・県費	0	0	0			札の辻公衆便所解体工事		3,038
	市債	0	0	0			堀之内北口公衆便所解体工事		2,074
	その他	0	0	0					
	一般財源	8,642	14,981	14,682					
決算 (千円)	事業費計	8,136	13,397			主な取組内容 【R5】	・日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務の実施 ・破損・故障時の緊急修繕工事の実施		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	29	7						
	一般財源	8,107	13,390						
	(執行率)	94%	89%						
人役	正規職員	0.5	1.0	1.0		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.5	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	清掃日数		目標	365	365	365	365	業務委託により適正に実施することができ、目標を達成できた。	
			実績	365	365				
	現状維持	日	達成率	100%	100%				
成果指標	公衆便所の使用不可日数 0日		目標	0	0	0	0	破損や故障には迅速に対応し、適切に維持管理することで、目標を達成できた。	
			実績	0	0				
	現状維持	日	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	公衆便所を適切に維持管理することができ、公衆衛生の保全及び市民の利便性を向上することができた。							
課題	機器ごとの経年劣化の状態を把握し、点検や取替による適切な保守管理を行う。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、公衆衛生の保全及び市民の利便性の向上が図られるため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	南クリーンセンター維持管理担当	連絡先	971-8862	
部長等名	松本 典洋	課等長名	吉本 真一	リーダー	渡邊 真二	担当	山崎 邦生	

1.事業概要【Plan】

事業名	南クリーンセンター運営管理事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
53133								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	豊かな自然と共生する			-	-	-	-	
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進							
主な取組	ごみの適正処理の推進		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画				
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理							
目的・背景	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である南クリーンセンターの運営管理及び維持管理を行う。							
対象・内容	<<対象>> ・南クリーンセンターの各施設 <<事業内容>> ・施設の運転管理業務は「荏原環境プラント株式会社西日本支店」に委託。 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「可燃ごみ」「粗大ごみ」に分類されるものを焼却・破砕し処理する。 ・ごみを焼却する際の余熱を利用して発電し、施設内で使用するとともに、余剰電力を売却する。 ・ごみを焼却する際の余熱を利用した蒸気の一部を、隣接する「アクアパレット」のプールの水温管理等に利用する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費	
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
予算 (千円)	事業費計	1,169,072	1,297,798	1,375,245			主な経費 (千円) 【R5 決算】	運転管理及びごみ受入れ業務委託料	473,880	
	国費・県費	0	0	0				ボイラー等プラント定期点検整備業務委託料	173,732	
	市債	0	0	0				南クリーンセンター焼却設備補修工事	162,800	
	その他	680,416	637,403	652,413						
	一般財源	488,656	660,395	722,832						
決算 (千円)	事業費計	1,125,709	1,208,391				主な取組内容 【R5】	・日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務の実施 ・破損・故障時の緊急修繕工事の実施		
	国費・県費	0	0							
	市債	0	0							
	その他	550,531	437,594							
	一般財源	575,178	770,797							
	(執行率)	96%	93%							
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0			特記事項			
	その他	6.0	6.0	5.0						
	合計	8.0	8.0	7.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和12年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	ごみ焼却量	目標	29,636	29,255	28,614	25,447	保守点検等施設の維持管理を適切に行ったことで安定的に焼却処理でき、一般廃棄物処理基本計画に沿った焼却を概ね達成できた。	
		実績	30,126	28,599				
	単年で減	ton	達成率	98%	102%			
成果指標	環境法令等基準値 超過回数	目標	0	0	0	0	適切に施設を運転することで、公害を防止し、周辺環境を保全することができた。	
		実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	搬入されたごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営、維持ができた。						
課題	建物や設備機器等の経年劣化への対応。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び適正な施設の運営、維持ができていたため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	西クリーンセンター維持管理担当	連絡先	953-1153	
部長等名	松本 典洋	課等長名	吉本 真一	リーダー	篠崎 竜男	担当	篠崎 竜男	

1.事業概要【Plan】

事業名	西クリーンセンター運営管理事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
53133								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	豊かな自然と共生する			○	-	-	-	
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進							
主な取組	ごみの適正処理の推進		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画				
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理							
目的・背景	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である西クリーンセンターの運営管理及び維持管理を行う。 平成25年度から供用を開始している。							
対象・内容	<<対象>> ・西クリーンセンターの各施設 <<事業内容>> ・施設の運転管理及び維持管理は、「松山環境テクノロジー株式会社」に委託(DBO方式)。 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「可燃ごみ」「粗大ごみ(可燃性)」に分類されるものを焼却・破砕し処理する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	施設運営業務の委託料		886,695
予算(千円)	事業費計	900,915	900,921	932,851					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	249,348	582,073	556,171					
	一般財源	651,567	318,848	376,680					
決算(千円)	事業費計	881,076	887,400			主な取組内容【R5】	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	473,713	946,976						
	一般財源	407,363	-59,576						
	(執行率)	98%	98%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項			
	その他	4.0	4.0	4.0					
	合計	5.0	5.0	5.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和12年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	ごみ焼却量		目標	83,999	82,919	81,103	72,127	保守点検等施設の維持管理を適切に行ったことで安定的に焼却処理でき、一般廃棄物処理基本計画に沿った焼却を概ね達成できた。	
			実績	86,509	84,925				
	単年で減	ton	達成率	97.1%	97.6%				
成果指標	環境法令等基準値超過回数		目標	0	0	0	0	適切な運営管理が行えたため、環境法令基準値の超過が無かった。	
			実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	搬入されたごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営、維持ができた。							
課題	令和14年度までの施設運営業務委託の期間のうち、11年が経過した。経年劣化の対応など、30年使用可能な施設運営が適切に実施されているかどうか、モニタリング業務を適正に行う。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び適正な施設の運営、維持ができていたため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	横谷埋立センター・横谷廃棄物センター維持管理担当	連絡先	977-5235	
部長等名	松本 典洋	課等長名	吉本 真一	リーダー	寺岡 和紀	担当	近藤 瞬	

1.事業概要【Plan】

事業名	横谷埋立センター運営管理事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
53133								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	豊かな自然と共生する			-	-	-	-	
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進							
主な取組	ごみの適正処理の推進		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画				
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理							
目的・背景	<<目的>> 松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である横谷埋立センター等の運営管理及び維持管理を行う。 <<背景>> 横谷埋立センターの供用開始による。							
対象・内容	<<対象>> ・横谷埋立センター及び横谷廃棄物センターの各施設 <<対象>> ・施設の運転管理業務は「水ingAM株式会社四国営業所」に委託。 ・家庭から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「埋立ごみ」に分類されるものと、クリーンセンターから発生した焼却灰の最終処分。 ・埋立地から発生した浸出水の浄化処理。 ・浸出水に含まれる塩類を消毒剤(エコ次亜)としてリサイクル。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費	
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
予算 (千円)	事業費計	560,818	604,979	616,389			主な経費 (千円) 【R5 決算】	水処理施設諸設備点検整備業務委託料	165,550	
	国費・県費	0	0	0				運転管理及びごみ受入業務委託料	108,350	
	市債	0	0	0				横谷廃棄物センター浸出液処理施設更新工事	34,320	
	その他	685	685	685						
	一般財源	560,133	604,294	615,704						
決算 (千円)	事業費計	476,017	524,700				主な取組 内容 【R5】	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持		
	国費・県費	0	0							
	市債	0	0							
	その他	3,779	19,972							
	一般財源	472,238	504,728							
	(執行率)	85%	87%							
人役	正規職員	3.7	3.5	2.0			特記 事項			
	その他	2.0	2.0	2.0						
	合計	5.7	5.5	4.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	エコ次亜生成量		目標	-	5,000	5,000	5,000	エコ次亜生成量は降雨量に左右されるので、降雨量が極端に低い年度は適用できないが、概ね例年のエコ次亜を生成できた。
			実績	5,228	4,926			
	現状維持	m3	達成率	-	99%			
成果 指標	浸出水貯留池の水位 11.5m超過回数		目標	0	0	0	0	貯留池水位や気象情報から浸出水の処理量を調整し、保持限界水位11.5mを超えることはなかった。
			実績	0	0			
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	保守点検等施設の維持管理を適切に行ったことで安定的な水処理ができ、一定量以上のエコ次亜を生成して塩類をリサイクルすることができた。また、安定的に水処理施設を運転することで、未処理水を流出させることなく、周辺環境を保全することができた。						
課題	エコ次亜の生成量、浸出水貯留池の水位保持ともに、降雨量に左右される。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び適正な施設の運営、維持ができていたため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	大西谷埋立センター維持管理担当	連絡先	977-0929	
部長等名	松本 典洋	課等長名	吉本 真一	リーダー		担当	西村英治	

1.事業概要【Plan】

事業名	大西谷埋立センター運営管理事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
53133								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	豊かな自然と共生する			-	-	-	-	
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進							
主な取組	ごみの適正処理の推進		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画				
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理							
目的・背景	<<目的>> 松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である大西谷埋立センター等の運営管理及び維持管理を行う。 <<背景>> 平成17年の合併により北条市から移管したことによる。							
対象・内容	<<対象>> ・大西谷埋立センターの各施設 <<対象>> ・施設の運転管理業務は「株式会社日本管財環境サービス」に委託。 ・家庭から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「埋立ごみ」に分類されるものと、クリーンセンターから発生した焼却灰の最終処分。 ・埋立地から発生した浸出水の浄化処理。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	水処理施設運転管理及び埋立等業務委託料		23,760
予算(千円)	事業費計	70,802	74,884	44,680					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	50	50	50					
	一般財源	70,752	74,834	44,630		電気料金		3,840	
決算(千円)	事業費計	65,604	61,516			主な取組内容【R5】	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営・維持管理		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	464	591						
	一般財源	65,140	60,925						
	(執行率)	93%	82%						
人役	正規職員	3.5	2.8	2.8		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	3.5	2.8	2.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	水処理施設の定期点検回数	目標	12	12	12	12	施設の適正な維持管理を行うための定期点検を確実に行う事ができた。	
		実績	12	12				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
成果指標	最終処分場に係る技術上の基準値超過回数	目標	0	0	0	0	適切な運営管理が行えたため、基準値の超過が無かった。	
		実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	埋立地及び水処理施設の維持管理を適切に行ったことで安定的に水処理ができ、周辺環境を保全することができた。						
課題	想定を超える豪雨時は水処理能力が限界に達する場合がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び適正な施設の運営、維持ができていたため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	中島リサイクルセンター維持管理担当	連絡先	997-5911	
部長等名	松本 典洋	課等長名	吉本 真一	リーダー		担当	井上 慶	

1.事業概要【Plan】

事業名	中島リサイクルセンター運営管理事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
53133								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	豊かな自然と共生する				○	-	-	-
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進							
主な取組	ごみの適正処理の推進			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画			
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理							
目的・背景	<<目的>> 松山市一般廃棄物処理実施計画に基づき、市民等から排出されたごみの資源化等を行う施設ある、中島リサイクルセンターの運営管理及び維持管理を行う。 <<背景>> 平成17年の合併により、中島町から移管したことによる。							
対象・内容	<<対象>> 中島リサイクルセンターの各施設 <<内容>> ①「缶・びん類」「プラ・ペット類」「金物・ガラス類」は、選別・圧縮・梱包などの作業を行ったうえで搬出する。 ②「粗大ごみ」「埋立ごみ」「水銀ごみ」「紙類」は、選別・分別などの作業を行ったうえで搬出する。 ③「可燃ごみ」などは、一時保管し搬出する。							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費		
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	プラスチックバール運搬業務委託料		2,534		
予算(千円)	事業費計	19,315	20,904	17,658				フォークリフト購入費		2,299	
	国費・県費	0	0	0					紙類の売却に伴う運搬業務委託料		2,275
	市債	0	0	0							
	その他	2,558	3,521	4,030							
一般財源	16,757	17,383	13,628								
決算(千円)	事業費計	18,571	16,276			主な取組内容【R5】	・中島地区から発生した一般廃棄物の再資源化 ・適正な施設の運営、維持管理				
	国費・県費	0	0								
	市債	0	0								
	その他	6,015	5,055								
	一般財源	12,556	11,221								
(執行率)	96%	78%									
人役	正規職員	2.2	2.2	2.2		特記事項					
	その他	8.0	8.0	8.0							
	合計	10.2	10.2	10.2							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和12年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	中島リサイクルセンターでの資源化量	目標	目標	1,122	1,368	1,617	3,258	施設を適正に運営・維持管理することで、概ね目標とする資源化量を達成することができた。	
		実績	実績	1,098	1,344				
		累計で増	ton	達成率	98%	98%			
成果指標	中島の資源化率	目標	目標	20.5	20.9	21.5	25.7	施設を適正に運営・維持管理することで、目標とする資源化率を達成することができた。	
		実績	実績	27.2	28.5				
		累計で増	%	達成率	133%	136%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	施設を適正に運営・維持管理することで、中島地区の一般廃棄物の資源化を目標値まで達成できた。							
課題	施設及び諸設備(作業車両含む)の経年劣化への対応。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設の運営・維持管理ができており、中島地区の一般廃棄物が、再資源化等により適正に処理できているため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	クリーンセンター整備担当	連絡先	948-6901	
部長等名	松本 典洋	課等長名	小嶋 徹也	リーダー	高橋 徹	担当	玉井 倫広	高石 達也

1.事業概要【Plan】

事業名	新南クリーンセンター整備事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
53133								
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	豊かな自然と共生する			-	-	-	-	
施策	脱炭素・循環型まちづくりの推進		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市ごみ処理広域化基本計画				
主な取組	ごみの適正処理の推進							
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理							
目的・背景	令和5年3月の松山ブロック(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町)による基本合意にて、本市の南クリーンセンター及び西クリーンセンターを松山ブロックの広域処理施設として運用することが決まったため、供用開始から30年が経過した南クリーンセンターの建替え業務を進め、将来の安定的なごみ処理体制を整えることを目的としている。							
対象・内容	《事業内容》 現在の南クリーンセンター敷地内での建替えに向けた各種調査や計画作成業務等を行い、令和14年度中の供用開始を目指している。 《今後のスケジュール(予定)》 ・令和6年度 施設整備基本計画策定 ・令和6年度 環境影響評価業務(～令和9年度) ・令和7年度 施設整備基本設計 ・令和9年度 造成工事(～令和10年度) ・令和10年度 実施設計及び建設工事(～令和13年度) ・令和14年度 供用開始							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	ごみ処理施設建設費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	建設用地測量業務委託料		5,343
予算(千円)	事業費計	0	15,922	66,152					
	国費・県費		4,870	21,100					
	市債		4,900	37,700					
	その他		0	0					
	一般財源		6,152	7,352					
決算(千円)	事業費計	0	11,340			主な取組内容【R5】	建替えに向けた各種調査や計画作成 ・施設整備基本計画作成業務 ・建設用地測量業務 ・地歴調査業務		
	国費・県費		4,870						
	市債		4,200						
	その他		0						
	一般財源		2,270						
	(執行率)	0%	71%						
人役	正規職員	-	-	4.1		特記事項	・令和5年度に新設した事業		
	その他	-	-	0.0					
	合計	0.0	0.0	4.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	施設整備基本計画の策定	目標		-	30	100	100	令和5年度に想定していた進捗を達成できた。	
		実績		-	30				
	累計で増	%	達成率	-	100%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	令和6年度末策定予定の施設整備基本計画の準備作業を進めることができたため。							
課題	建設用地が狭隘かつ2本の一級河川に挟まれていることや、物価高騰に伴う建設費の上昇が懸念される。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	松山ブロックでの基本合意に基づき、南クリーンセンターの建替えを進める必要があるため。		